

エコアクション21  
2020年



# 環境経営レポート

活動期間：2020年10月～2021年9月

未来に、今より美しい水を・・・



千葉県 白子海岸

エコアクション21

東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2021年12月6日

## 1 - 1. 東昭化学株式会社 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社  
代表者名 代表取締役 宮島昭夫  
所在地 〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町2-7

### 2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明  
連絡先 TEL 03-3863-0831 (代)

### 3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売  
劇物、毒物の販売  
食品添加物の販売  
医薬部外品の販売  
化粧品の販売  
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

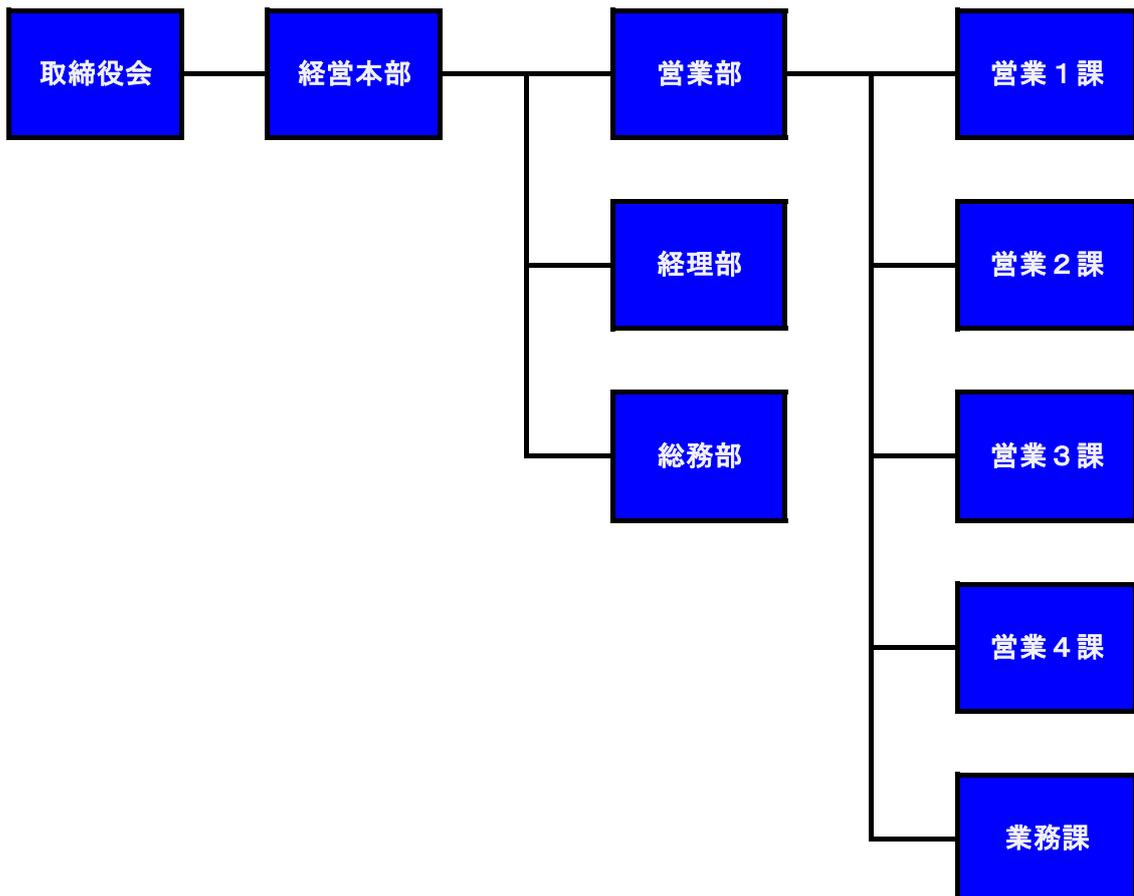
調理機器の販売業・賃貸業  
水処理設備の販売業・賃貸業  
物品の販売（日常生活品の販売）  
賃貸業  
清掃業  
前各号に附帯する一切の業務

### 4) 事業規模

資本金 2,400万円  
従業員数 27名  
対象床面積 280平方メートル



### 5) 東昭化学株式会社 組織系統図



## 1-2. 株式会社カズサ 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	川上康夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当 2 4 2 4 - 6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 2 - 7

### 2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	川上康夫 (兼任)
連絡先	TEL	0475-33-6417 (代)

### 3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売  
食品添加物の製造及び販売  
医薬品の製造及び販売  
劇物、毒物の製造及び販売

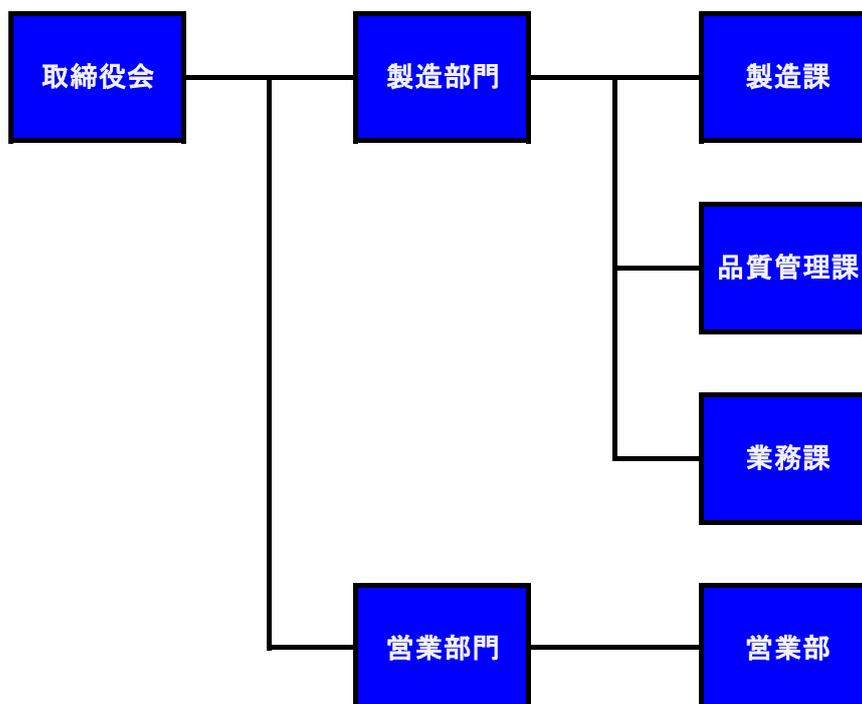
化粧品の製造及び販売  
医薬部外品の製造及び販売  
前各号に附帯する一切の事業

### 4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	12名
対象床面積	3,400平方メートル (敷地)
	1,259平方メートル (工場・事務所)
	438平方メートル (倉庫)

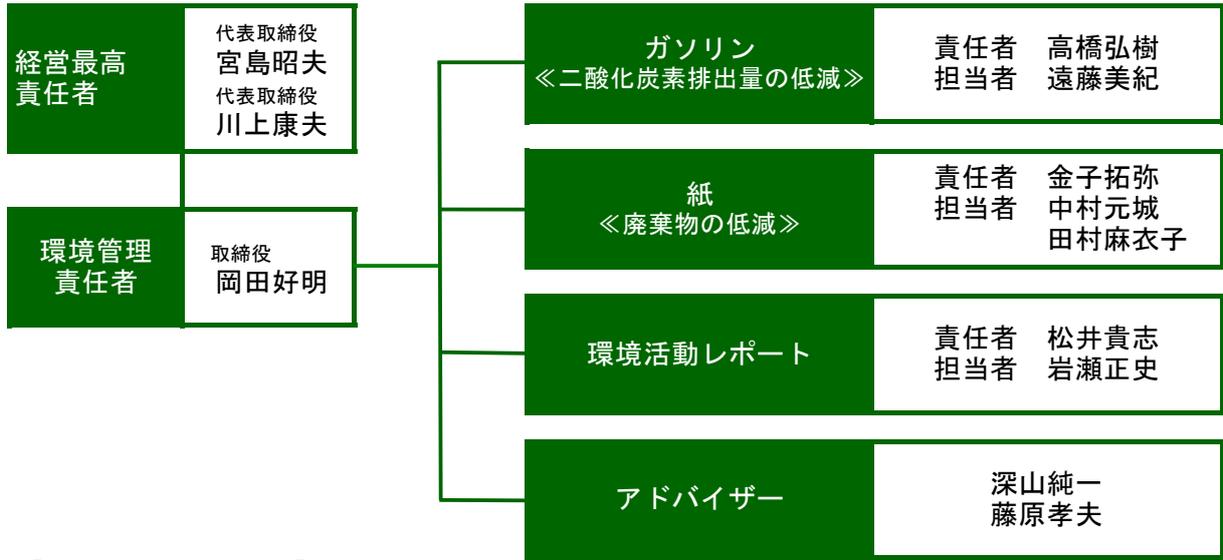


### 5) 株式会社 カズサ 組織系統図

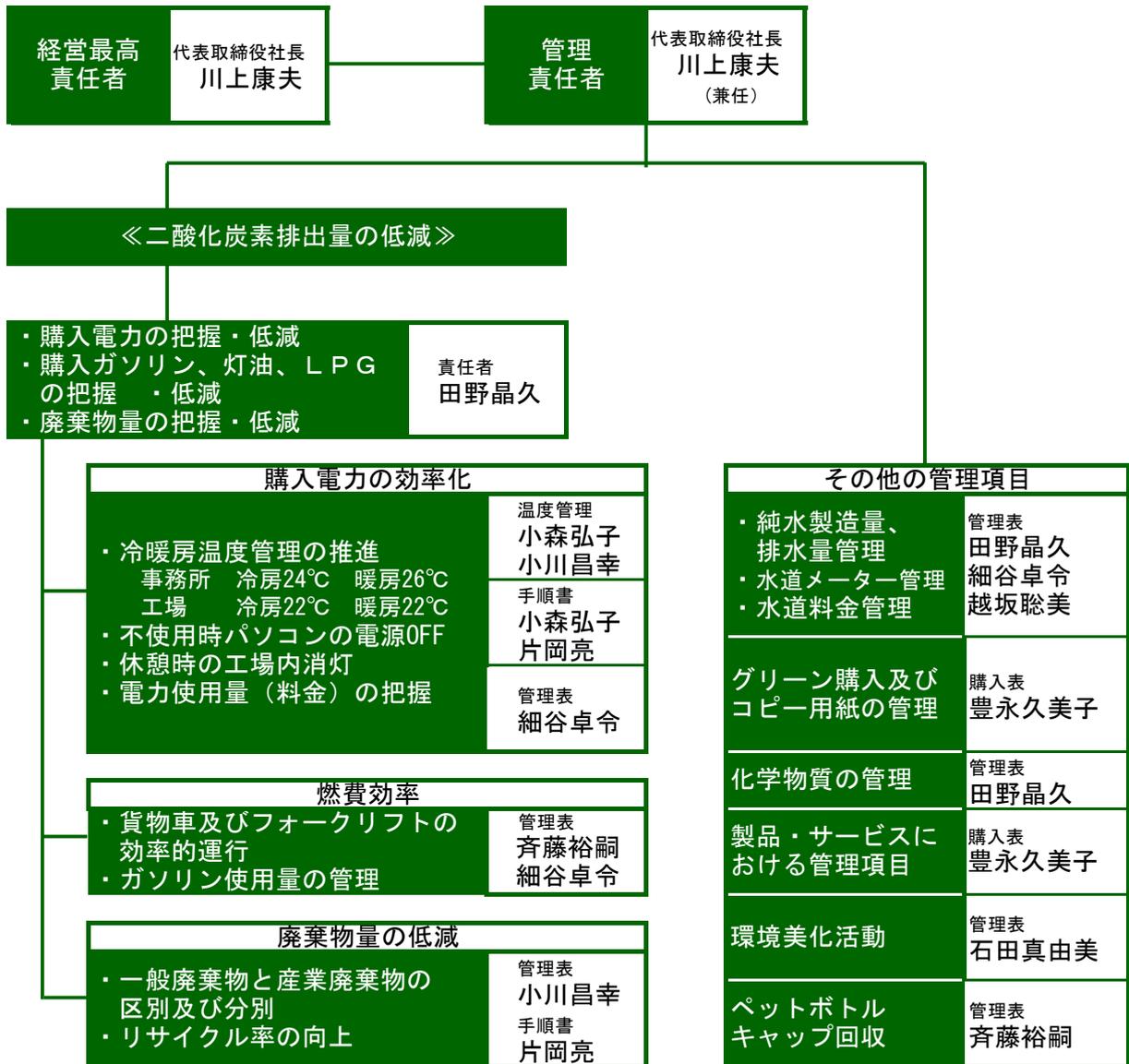


## 2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



### 3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

#### 1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

#### 2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

#### 3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

#### 4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

#### 5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2020年 10月 1日 (改定)

東昭化学株式会社  
代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ  
代表取締役 川上 康夫

---

#### 環境方針の履歴

2006年 9月15日 (制定)  
2008年 9月14日 (改定)  
2011年 9月15日 (改定)  
2016年 3月 8日 (改定)  
2018年10月 1日 (改定)  
2020年10月 1日 (改定)

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1) 環境経営目標と実績

東昭化学(株)と(株)カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ2015年10月～2016年9月の実績値から2021年9月までに2.5%改善させる目標値を定め、調査と活動計画を実施しています。

※東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、電気使用量、水使用量は把握できません。

東昭化学(株)	5か年計画 目標	2020年度 目標	2020年度 実績
二酸化炭素排出量 (KgCO <sub>2</sub> /億円)	813.05	813.05	485.93
二酸化炭素排出総量(KgCO <sub>2</sub> )	30,593.18	30,593.18	20,434.17
営業車燃費効率(Km/ℓ)	11.46	11.46	15.40
廃棄物量(kg)	1,227.53	1,227.53	745.00

- グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス(E C O対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : S D S の整備、顧客への最新版の提供  
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握  
(走行距離 : 135,643<sup>キロ</sup>・ガソリン8,807<sup>リットル</sup>)

(株)カズサ	5か年計画 目標	2020年度 目標	2020年度 実績
二酸化炭素排出総量(KgCO <sub>2</sub> )	22,052	22,052	23,330 ※
購入電力の低減(kwh)	33,307	33,307	35,591
ガソリン購入量 (ℓ)	2,274	2,274	2,285
廃棄物量(t)	1.98	1.98	1.96

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては

「登録番号A0149 グローバルエンジニアリングの0.499k g C O<sub>2</sub>/k w h」を使用しています。

- グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 軽トラック、フォークリフトの効率的な走行

2019年度 軽トラック:1,913<sup>キロ</sup>・フォークリフト:436.3 h (更新時一時3台稼働)

2020年度 軽トラック:2,233<sup>キロ</sup>・フォークリフト:557.6 h

## ○ 2020年10月から2021年9月までの新たな取組

2016年10月よりスタートした新5か年計画の最終年にあたり、5年間の取組の総括となる1年でした。

また、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業活動への影響が大きく、リモートを含む活動を求められる事業年度となりました。

東昭化学㈱では営業車の燃費効率向上のため、昨年度にハイブリット車への更新を行った結果、燃費効率の大幅な改善に至りました。しかしながら、営業活動に制限が生じていたために正確な比較とは考えづらいものとなりました。また、昨年度から実施しているFAX通信の完全ペーパーレス化により紙の消費量だけではなく、インクの消費、機器の消耗の削減が引き続き出来ました。受発注システムの導入による業務の効率化と更なるペーパーレスを目指してプロジェクトチームを発足しました。

㈱カズサでは長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、出荷量の変動で生産計画が立てづらい中での対応を余儀なくされました。

新商品の製造が増加し、純水使用量の増加とともにRO濃縮水の再利用を促進するために、工場内の緑化を推進して植栽への有効利用を進めています。また、従来から設置しているコンポストの肥料を使用して、場内循環を構築していきます。

また、電力使用量は生産の増加に伴い増加傾向にありますが、ピークオーバーを避けるため機器類の電源管理を徹底しました。

原材料容器、梱包資材などの廃棄物を有効利用するための方法を探求しました。

## 2) 主な取組み内容

### ○ 燃費効率の向上

東昭化学㈱

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し、効率の良い営業活動を行う。

ハイブリット車等低燃費車の導入。

㈱カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

### ○ 廃棄物量の削減（ペーパーレスの推進）

発信するF a xはP C/F a xを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

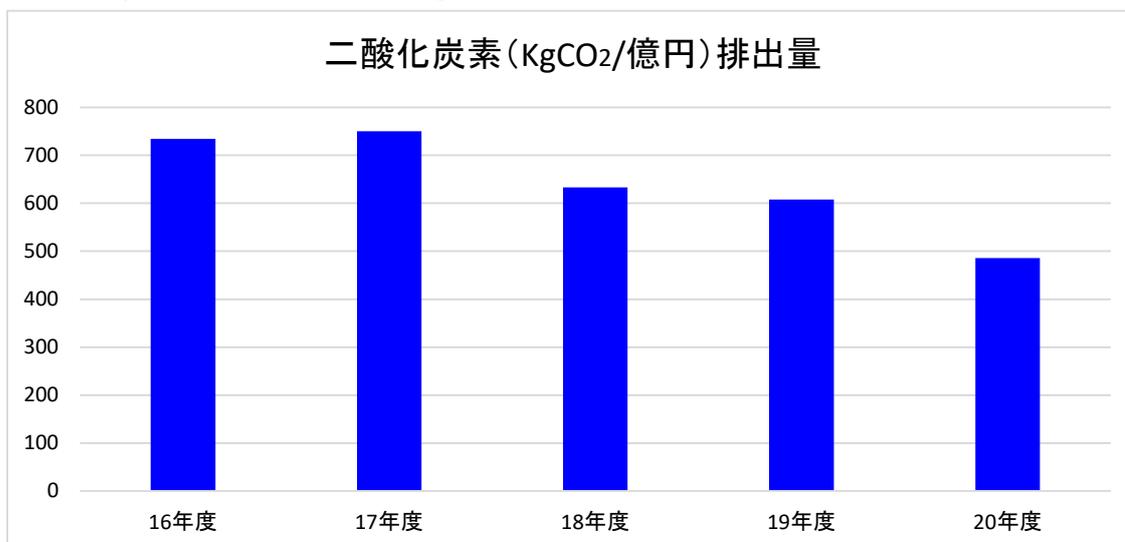
受発注業務のペーパーレス化の推進。

省資源化のためにお取引先様にもご協力をお願いします。

### 3) 実績の推移

#### 【東昭化学】

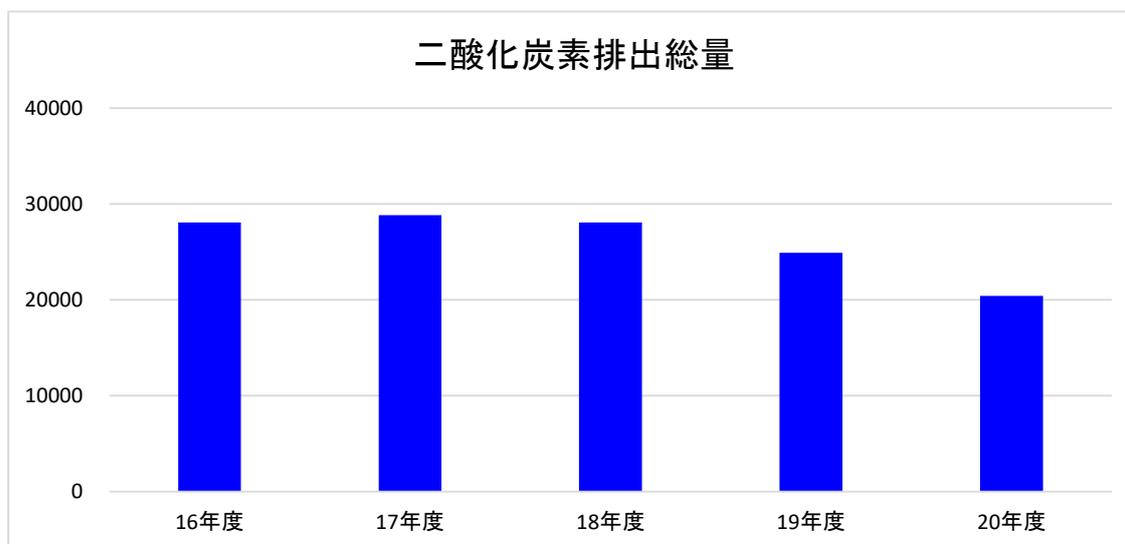
##### ■二酸化炭素の排出量の年間推移



二酸化炭素 (KgCO<sub>2</sub>/億円)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	734.4	750.4	633.0	608.0	486.0
前年増減率	97.9%	102.2%	84.4%	96.0%	79.9%
対前年評価	○	×	◎	○	◎

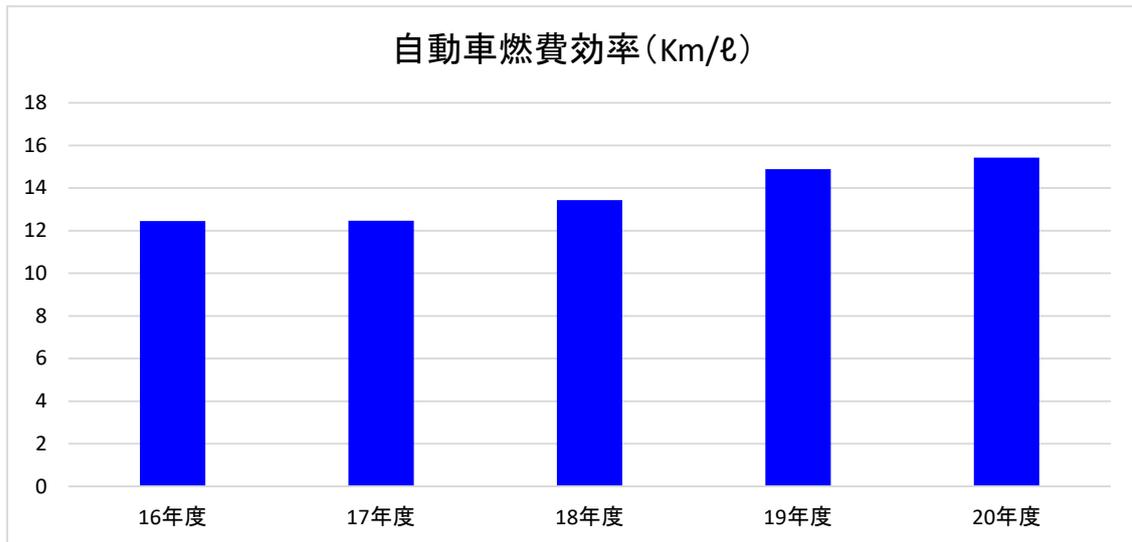
##### ■二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素排出総量(KgCO<sub>2</sub>)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	28,071	28,846	28,074	24,902	20,434
前年増減率	97.2%	102.8%	97.3%	88.7%	82.1%
対前年評価	◎	×	◎	◎	◎

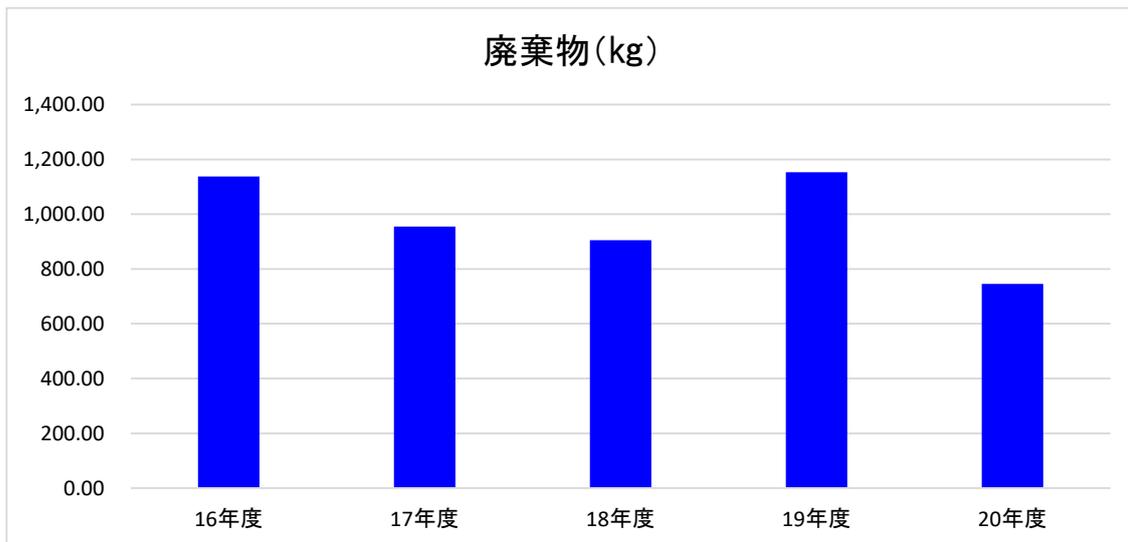
■自動車燃費効率の年間推移



燃費効率 (km/ℓ)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	12.45	12.46	13.43	14.88	15.43
前年増減率	98.6%	100.1%	107.8%	110.8%	103.7%
対前年評価	×	○	◎	◎	◎

■廃棄物量の年間推移

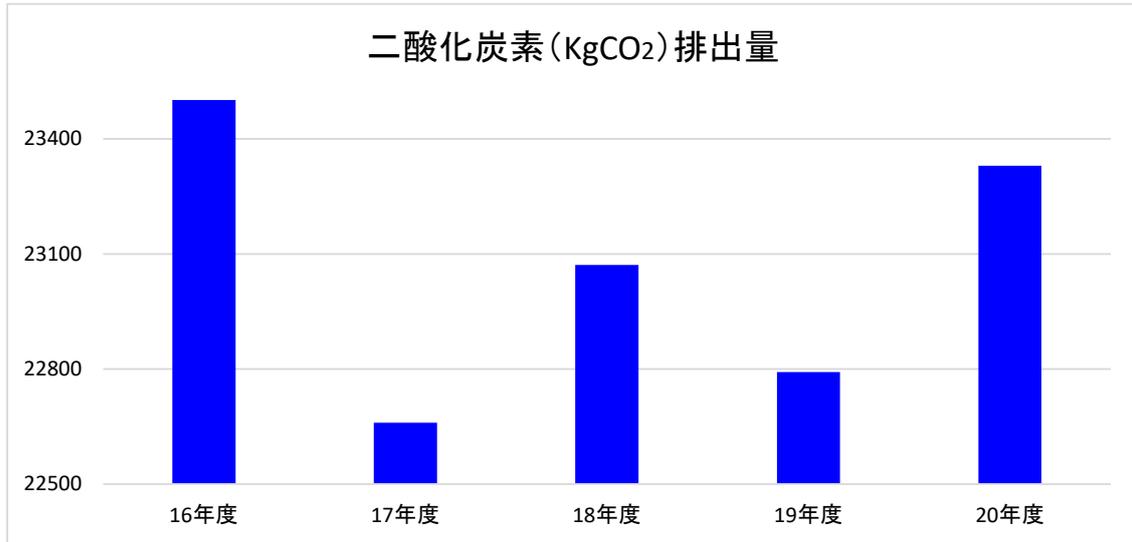


廃棄物 (kg)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	1,137.9	955.1	904.4	1,153.1	745.0
前年増減率	90.4%	83.9%	94.7%	127.5%	64.6%
対前年評価	◎	◎	◎	×	◎

## 【カズサ】

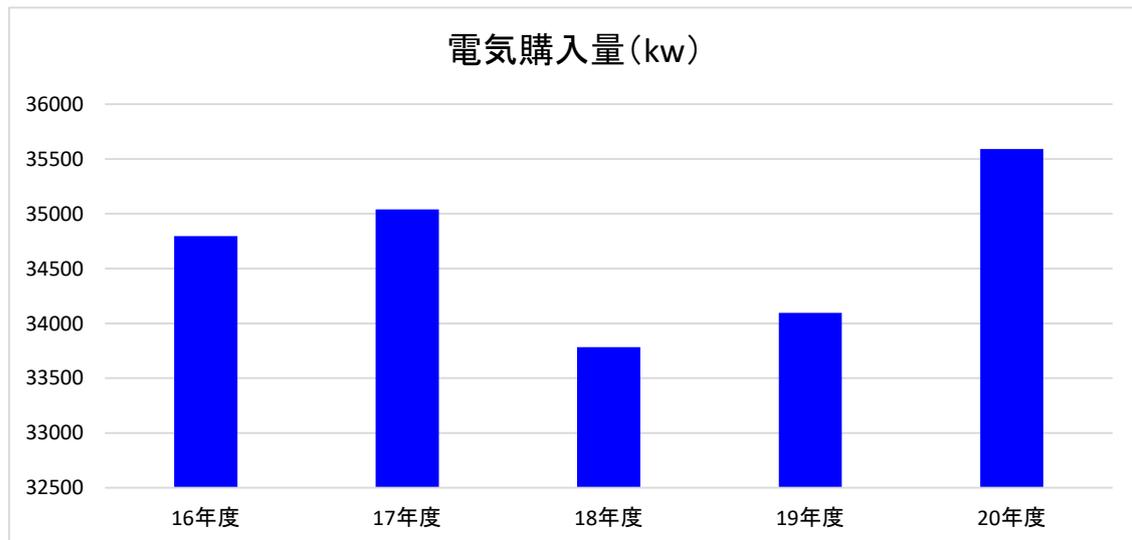
### ■二酸化炭素排出総量の年間推移



#### 二酸化炭素 (KgCO<sub>2</sub>)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	23,606	22,660	23,071	22,792	23,330
前年増減率	116.9%	96.0%	101.8%	98.8%	102.4%
対前年評価	△	○	△	○	△

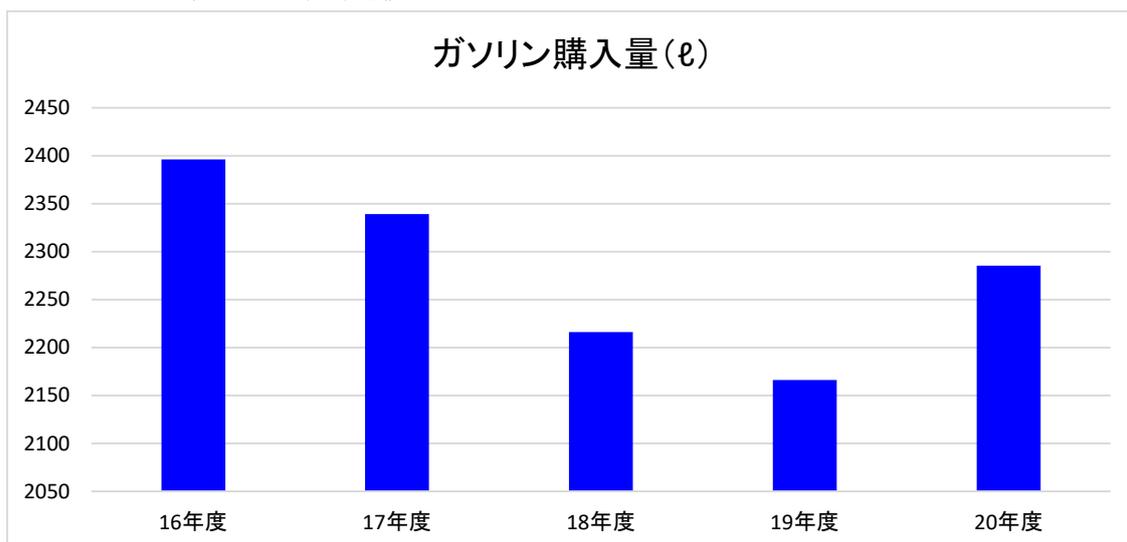
### ■電気購入量の年間推移



#### 電気購入量 (kw)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	34,797	35,041	33,784	34,096	35,591
前年増減率	101.9%	100.7%	96.4%	100.9%	104.4%
対前年評価	△	△	○	△	△

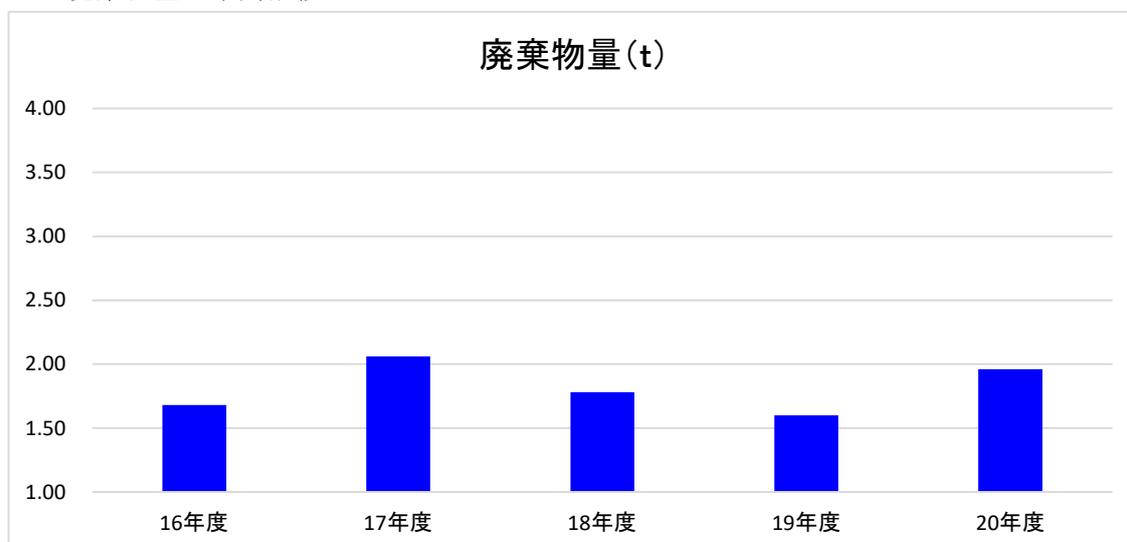
■ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	2,396.2	2,339.2	2,216.1	2,166.2	2,285.4
前年増減率	102.8%	97.6%	94.7%	97.7%	105.5%
対前年評価	×	◎	◎	◎	×

■廃棄物量の年間推移



廃棄物量 ( t )

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
実績値	1.68	2.06	1.78	1.6	1.96
前年増減率	95.5%	122.6%	86.4%	89.9%	122.5%
対前年評価	○	×	◎	○	×

## 4) 環境活動の取組結果とその評価

### 【東昭化学株式会社】

#### ①二酸化炭素排出量の削減

##### \*電力

東昭化学㈱の入居ビルでは契約上、電気代は家賃に含む一定額となっている。しかし、環境教育の一環として積極的な消灯活動、空調の適正温度管理を行っている。夜間、休日のP. Cの電源OFFを徹底している。

##### \*ガソリン

今期も営業車を1台ハイブリッドカーに更新したことにより、燃費効率の向上に寄与した。

#### ②廃棄物排出量の削減

帳票類の電子ファイル化、FAXの電子処理が進み、コピー用紙の購入量が半減している。

保管期限が過ぎた帳票類の廃棄も電子ファイル保存への移行とともに減少することが見込まれる。

#### ③グリーン購入・リサイクルの推進

社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。

#### ④環境関連法規の遵守

環境関連法令への違反なし。

#### ⑤環境教育の推進

営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を積極的に行っている。

### 【株式会社カズサ】

#### ①二酸化炭素排出量の削減

##### \*電力

2019年度に24kwまで下げた基本契約電力であるが、新製品製造が主な原因となり工場設備の電源のON/OFF調整など工夫をしたものの、基本契約電力32kwになってしまった。又、前述のとおり昨年度より製品製造ライン増加の為に年間を通して電力消費量が増加し、年度目標も未達となった。

##### \*ガソリン

夏季プール向け製品の出荷が一部復調したことによりフォークリフトの使用頻度が増加し、購入量が増加しているが、効率的な使用によりガソリン使用量が平均化し現状の活動で十分な成果を上げている。

#### ②廃棄物排出量の削減

新規生産品の増加と通常生産品の復調により今期排出量は増加したが、年度目標を達成し、5か年平均値では目標値をさらに8%程度削減することができた。分別の徹底、梱包の工夫において効果が表れている。

#### ③リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の目的を周知し、キャップの回収を促進した。プラドラムの処理を裁断して減容化した。梱包用ラップについて有価物としての売却を検討している。

#### ④環境関連法規の遵守

環境関連法令への違反なし。

#### ⑤環境教育の推進

全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、広い視野で活動に取り組むよう指導している。

## 5) 取組結果を踏まえた2021年度の取組み目標は

### 【東昭化学株式会社】

#### ①二酸化炭素排出量の削減

##### \*電力

事務局員の交代により、取組に対する意識を浸透させていく。  
空調の適正温度管理、昼休みの消灯、PC電源管理の徹底を図る。

##### \*ガソリン

社内営業車を更新する際は低燃費車への変更を考慮する。出張時にも低燃費車を使用するようにする。また、エコドライブを心掛けアイドリングストップの徹底を図る。

#### ②廃棄物排出量の削減

業務システムの改善で効率化と更なるペーパーレス化（電子化）を推進する。  
ミสปリンットの防止、資料の電子化などで紙の使用量を抑制する。

#### ③グリーン購入・リサイクルの推進

積極的にグリーン購入を推進。  
紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。

#### ④環境関連法規の遵守

化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。

#### ⑤環境教育の推進

全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。

### 【株式会社カズサ】

#### ①二酸化炭素排出量の削減

##### \*電力

引き続き生産計画の見直しや工場内LED化による省電力を推進する。

##### \*ガソリン

フォークリフト運転時間の集約、整備により燃費効率を向上させる。

#### ②廃棄物排出量の削減

原材料容器、梱包材量などからなる産業廃棄物について有効利用、再資源化を  
探求して生産増加による要因を軽減する。

#### ③グリーン購入・リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の継続。現在、産業廃棄物として排出している梱包用  
ラップを再資源化目的で有価売却する。

#### ④環境関連法規の順守

化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。

#### ⑤環境教育の推進

新入社員への環境教育の実施。また、活動の担当を一定期間でローテーション  
させたり、定例会議を開催し意見交換を行うことで常に環境活動への意識を  
高めている。

#### ⑥水使用量の把握

水使用量の削減について目標値を設定することにより、随時水使用量を把握し  
効率的な使用により削減に努める。

## 6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)

### 【東昭化学株】

#### T-1 二酸化炭素排出総量の低減

2020年度の実績値(20,434kgCO<sub>2</sub>)を基準値とし  
2026年9月までに二酸化炭素排出総量を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 19,923 kgCO<sub>2</sub>

#### T-2 燃費効率

2020年度の実績値(15.43Km/l)を基準値とし  
2026年9月までに営業車の燃費効率を2.5%向上させる。  
2026年9月までの目標値 15.83Km/l

#### T-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(979.1Kg)を基準値とし  
2026年9月までに廃棄物量を5%低減する。  
2026年9月までの目標値 930.1kg

### 【株カズサ】

#### K-1 購入電力の効率化

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(33,847kw)を基準値とし  
2026年9月までに購入電力を2.5%低減する。  
2026年9月までの目標値 33,001kw

#### K-2 燃費効率の向上(ガソリン使用量)

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(2,280l)を基準値とし  
2026年度までにガソリン使用量を2.5%低減する。  
2026年度までの目標値 2,223l

#### K-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,816t)を基準値とし  
2026年度までに廃棄物量を2.5%低減する。  
2026年度までの目標値 1,771t

#### K-4 水使用量の削減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,272m<sup>3</sup>)を基準値とし  
2026年度までに水使用量を2.5%低減する。  
2026年度までの目標値 1,241m<sup>3</sup>

## 7) 代表者による全体評価と見直し

新型コロナウイルス感染症の対策が続く中での営業活動において、在宅勤務、リモートワークなど業務形態の変化に対応するためにペーパーレス化が必須となり、業務、ワークフローなどの電子化が急速に進みました。行動が制限される中でもパフォーマンスを維持するために創意工夫を続けた1年となりました。

2016年度より始めました環境経営目標の5か年計画も最終年度となり、それぞれの活動がどの様に生かされ、根付いたかを評価するとともに新たな目標に向かって前進するための新5か年計画を設定します。



東昭化学㈱では営業車の燃費向上のためにハイブリッド車への更新を積極的に行った結果5年間で24%の向上が実現できました。今後も営業車の効率的な運用で目標達成に取り組んでください。

感染症対策の中での業務継続を構築するためにペーパーレスによる電子化が必須となり結果としてコピー用紙の購入量が半減し、帳票類の電子化により、今後の保管書類の廃棄も激減する見込みになりました。引き続き業務内容を見直し、ハードとソフトを有効に活用して環境の変化に柔軟に対応してください。



㈱カズサでは長引く新型コロナウイルス感染症の影響で需要の変動が激しい中での作業が続くことで、各取組みにも影響がありました。新製品の開発による設備改良、品種の増加により今後も電力等の使用は増加傾向にあります。廃棄物の削減では新たに梱包用ラップの再資源化が確立し、大きな削減効果が期待できます。新5か年計画の達成には様々な課題があると思われませんが知恵と工夫で取り組んでください。

## 【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉  
回収期間 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	kg	個数
合計	9.7	4,180

ワクチンキャップ 受領書				
東昭化学株式会社 井澤 様				日付 令和3年4月21日
				 〒135-0066 東京ペットボトルリサイクル株式会社 東京都江東区駒の嶽二丁目3番10号 TEL 03-3599-1080 FAX 03-3599-1082 http://petbottle.tpr-co.jp/
受領日	受領数量	備考※1	ボトワックスに換算した量※2	
2021/4/21	9.7kg	キャップ 約 4,180 個	です。	2.4 本分
計	9.7kg	今回の受領量は、約 4,180 個	です。	2.4 本分
総計	9.7kg	キャップ 約 4,180 個	です。	2.4 本分

ご提供いただきました皆様からのキャップの代金は、東京ペットボトルリサイクルから「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」の団体を通じ、お支払させていただきます。

※1 キャップ1kgあたり430個として計算しています  
※2 2.0gのワックスとした場合を例に、1本当たり20mlとして計算しています